

週刊全住協 News

Japan Association of Home Suppliers



8月の新設住宅着工、前年比7.1%減の7.6万戸

～国交省調べ、分譲住宅は増加、持家・貸家が減少

国土交通省がまとめた、令和元年8月の「建築着工統計調査報告」によると、全国の新設住宅着工戸数は、分譲住宅は増加したが、持家及び貸家が減少したため、全体で前年同月比7.1%減の7万6034戸となり、2か月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は前月比2.1%減の89万1000戸となり、2か月連続の減少。

利用関係別にみると、持家は前年同月比1.6%減で11か月ぶりの減少。民間資金による持家が減少し、公的資金による持家も減少したため、持家全体で減少となった。貸家は同17.5%減で12か月連続の減少。民間資金による貸家が減少し、公的資金による貸家も減少したため、貸家全体で減少となった。分譲住宅は同5.6%増で3か月連続の増加。マンションが増加し、一戸建住宅も増加したため、分譲住宅全体で増加となった。

圏域別にみると、首都圏は持家が前年同月比7.5%増、貸家が同14.5%減、分譲住宅が同12.9%増で全体では同0.9%減となった。中部圏は持家が同7.1%減、貸家が同36.2%減、分譲住宅が同13.7%増で全体では同16.4%減。近畿圏は持家が同0.6%増、貸家が同7.1%減、分譲住宅が同16.9%減で全体では同8.8%減。その他の地域は持家が同3.8%減、貸家が同17.6%減、分譲住宅が同6.7%増で全体では同8.8%減となった。

《令和元年8月の住宅着工動向の概要》

〔利用関係別〕◇持家＝2万4027戸(前年同月比1.6%減、11か月ぶりの減少)。大部分を占める民間金融機関など民間資金による持家は同1.6%減の2万1396戸で14か月ぶりの減少。住宅金融支援機構や地方自治体など、公的資金による持家は同2.0%減の2631戸で4か月ぶりの減少。◇貸家＝2万9255戸(前年同月比17.5%減、12か月連続の減少)。民間資金による貸家は同18.1%減の2万6400戸で27か月連続の減少。公的資金による貸家は同11.9%減の2855戸で3か月連続の減少。◇分譲住宅＝2万2517戸(前年同月比5.6%増、3か月連続の増加)。うちマンションは同11.1%増の1万159戸で前月の減少から再び増加、一戸建住宅は同2.4%増の1万2236戸で3か月連続の増加。

〔圏域別・利用関係別〕◇首都圏＝2万7263戸(前年同月比0.9%減)、うち持家5123戸(同7.5%増)、貸家1万824戸(同14.5%減)、分譲住宅1万1272戸(同12.9%増)、うちマンション5868戸(同26.1%増)、一戸建住宅5316戸(同2.0%増)。◇中部圏＝8891戸(前年同月比16.4%減)、うち持家3577戸(同7.1%減)、貸家2856戸(同36.2%減)、分譲住宅2447戸(同13.7%増)、うちマンション733戸(同56.3%増)、一戸建住宅1712戸(同2.2%増)。◇近畿圏＝1万737戸(前年同月比8.8%減)、うち持家2982戸(同0.6%増)、貸家4162

戸(同 7.1%減)、分譲住宅 3569 戸(同 16.9%減)、うちマンション 1724 戸(同 27.3%減)、一戸建住宅 1825 戸(同 1.7%減)。◇**その他の地域**=2 万 9143 戸(前年同月比 8.8%減)、うち持家 1 万 2345 戸(同 3.8%減)、貸家 1 万 1413 戸(同 17.6%減)、分譲住宅 5229 戸(同 6.7%増)、うちマンション 1834 戸(同 11.1%増)、一戸建住宅 3383 戸(同 5.4%増)。

[**マンションの圏域別**] ◇**首都圏**=5868 戸(前年同月比 26.1%増)、うち東京都 3645 戸(同 60.3%増)、うち東京 23 区 3387 戸(同 80.5%増)、東京都下 258 戸(同 35.2%減)、神奈川県 927 戸(同 10.3%減)、千葉県 829 戸(同 1101.4%増)、埼玉県 467 戸(同 63.5%減)。◇**中部圏**=733 戸(前年同月比 56.3%増)、うち愛知県 607 戸(同 69.1%増)、静岡県 30 戸(同 50.0%減)、三重県 0 戸(前年同月 28 戸)、岐阜県 96 戸(前年同月比 336.4%増)。◇**近畿圏**=1724 戸(前年同月比 27.3%減)、うち大阪府 897 戸(同 53.0%減)、兵庫県 320 戸(同 3.6%増)、京都府 236 戸(同 594.1%増)、奈良県 130 戸(同 20.4%増)、滋賀県 0 戸(前年同月 12 戸)、和歌山県 141 戸(同 0 戸)。◇**その他の地域**=1834 戸(前年同月比 11.1%増)、うち北海道 376 戸(同 30.6%増)、宮城県 0 戸(前年同月 0 戸)、広島県 167 戸(前年同月比 89.8%増)、福岡県 285 戸(同 20.6%減)。

[**建築工法別**] ◇**プレハブ工法**=1 万 1201 戸(前年同月比 5.3%減、3 か月ぶりの減少)。◇**ツーバイフォー工法**=8972 戸(前年同月比 12.5%減、5 か月連続の減少)。

[**URL**] http://www.mlit.go.jp/report/press/joho04_hh_000862.html

[**問合せ先**] 総合政策局 情報政策課 建設経済統計調査室 03—5253—8111 内線 28625、28626

調査統計

国交省、8月の建設労働需給調査、全国8職種の過不足率1.8%の不足

国土交通省は、令和元年8月の「建設労働需給調査結果」をまとめた。この調査は、全国の型わく工(土木と建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木と建築)=6職種に、電工、配管工の2職種を加えた8職種を対象に、令和元年8月10日~20日までの間の1日(日曜、休日を除く)を調査対象日として過不足率を調べたもの。

全国の8職種の過不足率は、7月が1.3%の不足、8月は1.8%の不足となり、0.5ポイント(P)不足幅が拡大した。また、東北地域の8職種の過不足率は、7月が1.4%の不足、8月は2.7%の不足となり、1.3P不足幅が拡大した。

今後、8職種の労働者の確保見通しは、全国及び東北地域とも「普通」。

〈8月の職種別過不足率の状況〉[プラス(+)は不足、マイナス(▲)は過剰]◇型わく工(土木)=+1.0%(前月比▲1.1P)◇型わく工(建築)=+1.9%(同▲0.3P)◇左官=+0.1%(同▲4.4P)◇とび工=+2.1%(同+1.7P)◇鉄筋工(土木)=+3.0%(同+0.8P)◇鉄筋工(建築)=+4.2%(同+4.8P)◇6職種計=+2.2%(同+0.9P)◇電工=+0.7%(同▲0.4P)◇配管工=+1.6%(同+0.5P)◇8職種計=+1.8%(同+0.5P)。

[**URL**] http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000860.html

[**問合せ先**] 土地・建設産業局 建設市場整備課 03—5253—8111 内線 24853、24854

国交省、9月の全国主要建設資材、需給は全てが均衡、価格は全てが横ばい

国土交通省は、令和元年9月1日～5日に調査した「主要建設資材需給・価格動向調査結果」をまとめた。生コン、鋼材、木材など7資材13品目について、価格、需給、在庫等の動向を調査したもの。全国の建設資材動向は次のとおり。[価格動向]=全ての資材が「横ばい」。[需給動向]=全ての資材が「均衡」。[在庫状況]=全ての資材が「普通」。

被災3県(岩手県、宮城県、福島県)の建設資材動向は次のとおり。[価格動向]=全ての資材が「横ばい」。[需給動向]=全ての資材が「均衡」。[在庫状況]=骨材(再生砕石)のみ「やや品不足」、それ以外の資材は「普通」。

[URL] http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000861.html

【問合せ先】土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室
03—5253—8111 内線 24863、24864

周知依頼

外国元首・祝賀使節等の来日に伴う交通対策について、国交省から周知依頼

即位礼正殿の儀等が10月22日(火・祝)及び23日(水)に東京都内で挙行されるに当たり、「外国元首・祝賀使節等の来日に伴う交通対策」について、国土交通省から当協会へ周知依頼があった。交通総量抑制地域への自動車の乗入れの自粛や業務用車両の運行調整を呼びかけている。

【多数の外国要人の来日に伴う首都高速道路及び一般道路の交通規制】◇日時=①10月22日(火・祝)、10:00頃～24:00頃、②10月23日(水)、午後～23:00頃。◇区間=「交通規制が実施される首都高速道路及び地区」中の首都高速道路の区間、都心地区の一般道地区。

【祝賀御列の儀(パレード)に伴う交通規制】◇日時=10月22日(火・祝)、7:00頃～17:00頃。◇区間=「皇居周辺の交通規制」中の道路。詳細はURLを参照のこと。

[URL] https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotsu/doro/regulation/ceremony_kisei.html
(警視庁「外国要人の多数来日に伴う交通規制[即位の礼期間中の交通規制]」)

シンポジウム

リビングアメニティ協会、「住宅部品点検の日」シンポを10月10日開催

(一社)リビングアメニティ協会は、「第8回『住宅部品点検の日』シンポジウム～長く住み継がれる“住まい”のためには～」を開催する。

【基調講演】長期住宅維持管理による自宅の優良資産化＝中林昌人氏[榊家価値サポート代表取締役社長兼既存住宅流通研究所所長]。【研究報告1】2018年度リフォームに対する生活者の意識把握調査＝吉原豊氏[(一社)リビングアメニティ協会リフォーム・施工部会部会長]。

【研究報告2】住宅部品の点検普及に向けての点検ツールについて＝石神諒氏[(一財)ベタ

ーリビング住宅部品評価グループ住宅部品事業推進部]。【パネルディスカッション「～点検から安全で快適な住まいへ～」】コーディネーター＝向殿政男氏[明治大学名誉教授、顧問]。パネリスト＝山口博康氏[㈱山口建設代表取締役社長]、馬地宏一氏[凸版印刷㈱トッパンアイデアセンター電子カタログ部部長]、長田三紀氏[情報通信消費者ネットワーク]。阿部一臣氏[国土交通省住宅局住宅生産課企画専門官]。

【日時・会場・定員】10月10日(木) 13:00～16:40・住宅金融支援機構1階「すまい・るホール」(東京都文京区)・280名。【参加費】無料。定員に達した時点で申込受付を終了する場合があります。申込方法など詳細はURLを参照のこと。

【URL】<https://tenken1010.org/information/announcement/1111/>

【問合先】03—5211—0540

URひと・まち・くらしシンポジウム、東京10/16、大阪10/23開催

(独)都市再生機構(UR都市機構)は、令和元年度URひと・まち・くらしシンポジウム(UR技術・研究報告会)「元気なまちをデザインする一人と地域のつながりが未来を創る」[共催:(一財)都市再生共済会]を東京と大阪で開催する。

◇東京会場【特別プログラム】団地はまちのおもちや箱＝山田五郎氏[編集者・評論家]。

【UR技術・研究報告会】①「食」と「つなぐ」がテーマの活動拠点—「はなみがわLDK+」を通じたコミュニティ活性化—＝小林沙佳子氏[東日本賃貸住宅本部千葉エリア経営部ウェルフェア推進課]。②新しい都市再生の取組み—まちリノベ@福山—＝賀満田将悟氏[西日本支社都市再生業務部中国まちづくり支援事務所広島都心部再生課]。③災害からの速やかな復旧に向けて—今、URに求められていること—＝望月浩史氏[本社災害対応支援室]。④URが推進する研究開発とUR賃貸住宅の長寿命化に係る研究開発について＝山崎信吾氏[本社技術・コスト管理部技術調査課]。⑤Open Smart UR—UR2030 IoT・AIの未来の住まい—＝村上修一氏[本社技術・コスト管理部設計課]。【パネルディスカッション】ダンチの未来をデザインする。パネリスト＝渡辺真理氏[法政大学デザイン工学部建築学科教授]、西周健一郎氏[UR都市機構統括役]。学生パネリスト＝2019年度(一社)日本建築学会設計競技「ダンチを再考する」全国入選作品の制作グループ。【企画展】ホワイエにてパネルを展示。

◇大阪会場【特別プログラム】新しい日本の住文化 再生・創造の実践とデザイン＝星田逸郎氏[㈱星田逸郎空間都市研究所]、荒昌史氏[㈱HITOTOWA]、奥河洋介氏[㈱HITOTOWA]、吉原勝己氏[㈱スペースRデザイン]。UR技術・研究報告会、パネルディスカッション、企画展は東京会場と同様に行われる。

【日時・会場・定員・申込締切】◇東京会場＝10月16日(水) 13:00～17:20(開場12:30)・日経ホール(東京都千代田区)・610名・締切10月11日(金)。◇大阪会場＝10月23日(水) 13:00～17:50(開場12:30)・阪急うめだホール(大阪市北区)・408名・締切10月18日(金)。※両会場ともに席に余裕がある場合は、当日受付を行う。※定員に達した場合は事前に申込みを終了する場合があります。【入場料】無料。申込方法など詳細はURLを参照のこと。

【URL】<https://www.ur-net.go.jp/rd/houkokukai/>

【問合先】(独)都市再生機構 本社 技術コスト・管理部 技術調査課 045—650—0675

セミナー

木耐協、「防災から始める地域密着実践セミナー」10月10日開催

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合(木耐協)は、「目指せ地域一番店 防災から始める地域密着実践セミナー」を開催する。

【プログラム】①地震等の自然災害の発生状況と国の対応、②防災+地域密着で活動する事業者の事例、③木耐協「地域防災ステーション」とは！？、④防災・耐震を消費者へ発信する方法—など。

【日時・会場・定員】10月10日(木) 13:30~16:30・みんなの会議室東京駅前4階(東京都中央区)・先着30名。【参加費】無料。申込方法など詳細はURLを参照のこと。

[URL] http://www.mokutaikyo.com/seminar/bousai_gaiyou.html

【問合せ】03—6261—2040

協会だより

◆10月の行事予定

◇ 4日(金)	13:30~	特保住宅(戸建住宅)検査員研修〔関住協「会議室」〕
◇ 7日(月)	15:00~	入会審査会〔主婦会館〕
	15:30~	組織委員会〔同上〕
	17:00~	情報交換会〔テング酒場〕
◇ 8日(火)	13:30~	金融商品取引法セミナー〔主婦会館〕
◇ 11日(金)	9:30~	顧客中心のアプローチで理解する「マーケティング基礎研修」〔全水道会館〕
◇ 17日(木)	9:50~	不動産後見アドバイザー講習会(1日目・(組織委員会))〔札幌第一ホテル〕
	13:30~	不動産流通セミナー(兼全住協安心R住宅制度研修)〔宮城県建設産業会館〕
◇ 18日(金)	9:50~	不動産後見アドバイザー講習会(2日目・(組織委員会))〔札幌第一ホテル〕
	13:30~	特保住宅(戸建住宅)検査員研修〔協会会議室〕
◇ 21日(月)	13:00~	営業マネージャー向け実践講座(マーケティング編)〔弘済会館〕
	18:00~	第15回耐震化実践アプローチセミナー〔同上〕
◇ 23日(水)	9:45~	宅地建物取引士法定講習〔連合会館〕
◇ 24日(木)	13:30~	金融商品取引法セミナー(大阪)〔貸会議室ティーオージー〕
	15:30~	マンション分譲研究部会(中高層委員会)〔弘済会館〕
	17:40~	懇親会〔テング酒場〕
◇ 25日(金)	15:00~	商品企画小委員会(戸建住宅委員会)〔主婦会館〕
◇ 31日(木)	13:30~	不動産流通セミナー(兼全住協安心R住宅制度研修)〔愛知建設業会館〕